

# 算数科学習指導案

那覇市立城東小学校

平成 14 年 11 月 22 日(金)

授業学年 3 学年

## 1 単元名 「かけ算のひっ算(1)」

## 2 単元の目標

筆算形式による 2, 3 位数に 1 位数をかける乗法計算のしかたについて理解し, それを用いる能力をのばす。

## 3 単元の評価規準

【A 数と計算】

	ア．算数への関心・意欲・態度	イ．数学的な考え方	ウ．数量や図形についての表現・処理	エ．数量や図形についての知識・理解
内容のまとめ ごとの評価規準	整数の意味や表し方, 整数の四則計算にかかわる知識や技能の有用さ, 及びそれらの性質や関係を調べたり筋道立てて考えたりすることの楽しさやよさに気づき, 進んで生活に生かそうとする。	整数の意味, 表し方や整数の四則計算にかかわる算数的活動を通して, 数学的な考え方の基礎を身につけ, 事象について見通しを持ち筋道立てて考える。	十進位取り記数法により整数を表すことができるとともに, 整数の四則計算が確実にでき, それらを適切に用いることができる。	整数の表し方についての理解を深め, 整数についての感覚を豊かにするとともに, 整数の四則計算の意味を理解している。
単元の評価規準	筆算形式による 2, 3 位数×1 位数の計算のしかたを既習の乗法計算のしかたをもとに考えようとする。	筆算形式による 2, 3 位数×1 位数の計算のしかたを数の構成や十進位取り記数法をもとに考える。	2, 3 位数×1 位数の計算が正確にできる。 乗法の結合法則を計算に用いることができる。	2, 3 位数×1 位数の筆算のしかたを理解する。 乗法の結合法則を理解する。

## 4 単元について

### (1) 教材について

本単元は, 2 学年で学習した乗法九九や本学年で学習した乗法九九の式の意味や計算順序の学習の後を受けて何十, 何百の乗法の計算と乗法の筆算形式の原理や手順を理解することである。

何十, 何百のかけ算

ここでは, 既習の学習をもとにして, 何十, 何百×1 位数の計算についての理解を図る。

ポイントは、何十、何百×1位数の計算も、既習の乗法九九を使えば簡単に答が求められることに気づかせ、瞬時にできるようにすることである

#### 2位数×1位数のかけ算の計算

計算のしかたを考える指導では、まず児童自身の力で計算方法を導き出せるような展開を試みる。そのためには、既習であればどんな方法でもよいという自由な雰囲気の中で自力解決させたい。そして、それぞれの考えをお互いに理解し認め合う場を持った後に、分配法則を使う方法のよさに気づかせるという学習の流れをとる。

被乗数や乗数を変え、友達が考え出したいいくつかの方法を検証し、できるだけ児童自身が分配法則のよさを見つけていける授業を構成する。

#### 3位数×1位数のかけ算の計算

3位数×1位数については、2位数×1位数の発展として、順次既習の筆算のしかたから類推的に導くようにする。

桁数が1つ増えただけで、原理・手順は2位数一位数とまったく同じであることを確認する。

結合法則は、買い物などの具体的な場面を背景に、その意味をとらえられるようにする。

### (2) 児童について

「かけ算のひっ算」に入る前の診断テストでは、学年の平均点が94点である。その中で誤答が多かったのは「 $4 \times 6$ の答えは $4 \times 5$ の答えより大きい」「 $8 \times 7$ の答えは $8 \times 8$ の答えより小さい」という問題で85%であった。それは、「かける数が1ふえると(へると)答えはかけられる数だけ大きく(小さく)なる。」という既習学習の理解が不十分と考える。また各クラスに数名かけ算九九をしっかり覚えていない子もいる。

少人数での学習が始まってから「先生へ質問しやすくなった。」という声が聞こえる。アンケートの結果からも「算数が嫌い」が4月より減り、楽しいのはどんな時かの質問で「先生や友だちによい考えとほめられたとき」が増えている。少人数の指導により、コミュニケーションの機会が増えたことが伺える。また、コース別学習の後の振り返りでは、「意味がわかるようになった。」「次のコースの問題まで進めてうれしい。」とコース問題が解決できたときの喜びがわかる。毎時の学習の中で自力解決の場面で自分の考えを進んで発表する子も増えてきた。

## 5 指導と評価について

### (1) 学習指導の工夫

#### 学ぶ楽しさを味わわせる工夫

- ・自分の課題を自分で見つけ、コースを自分で見つける。
- ・チェックテストの実施 自己評価 コース選択の手順を踏む。
- ・生活に生かせる場面を設定する。

#### 算数的活動の工夫

- ・問題場面や算数用語の補足として操作活動を通して理解させる。
- ・簡単な数値から類推させる。
- ・数直線などの考え方を手だてとして、演算決定の方策を活用する。

#### 個人差への対応の工夫

- ・少人数で、自分にあった問題をていねいに学習できる環境を設定する。
- ・発展問題で自分の力を伸ばす学習環境を設定する。

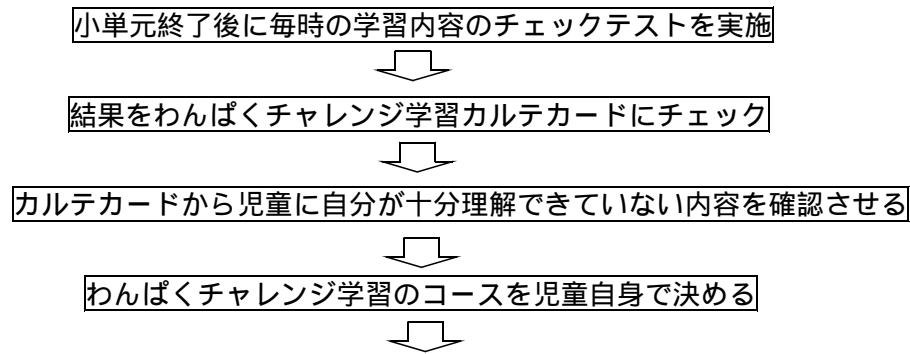
### (2) コース別学習について

#### コース編成の基本方針

- 児童が自らのつまづきを十分理解し、それを克服するために学習するコースを選択させる。
- 児童が選択したコースが適切なコースであるか教師は十分な検討を行い、必要に応じて個々の児童と相談をする。

ウ 児童が選択したコースの変更は、本人と十分相談をして行う。

習熟度別指導におけるコース編成の手順



\* 必要に応じて教師が調整する

各コースの教師の役割

C 1 コース 個々の児童にじっくり関わり理解できるまで指導する。

C 2、C 3、C 4 コース 教師のわずかな援助で、できるだけ自力で解決させる。

C 5 コース 自分の計画で発展問題に取り組みせ、自力解決させる。

コース編成上の習熟度と人数のめやす

コース名	くり上がり コース	1 回くり上が りコース	2 回くり上がり コース	3 つの数のかけ 算	チャレンジ コース
各コースの編 成のめやす。	各コース正解 が 0 ~ 2 問	C 1 コース 全問正解。 上位問題 0 ~ 2 問正解	C 1 C 2 コース 全問正解。 上位問題 0 ~ 2 問正解	C 1 C 2 C 3 コ ース全問正解。 上位問題 0 ~ 2 問正解	各コース全問 正解。 上位問題 0 ~ 5 問正解
人数 (人)	1 0 人以下	1 5 ~ 2 0	2 0 ~ 3 0	1 5	4 0 ~ 7 0

#### (4) 評価についての基本的な考え方

評価は、指導計画に従って診断的評価、形成的評価、総括的評価を行い、各個人の達成の状況とつまずきを的確に把握し、指導法の改善に努めすべての児童が指導要領に示す目標や内容を達成するようにする。

目標や内容を達成している児童は、さらに能力を伸ばすように学習活動を設定する。毎時間の指導では観点別評価項目の中から、一つか二つの観点から指導事項を明確にして形成評価を行う。毎時間の指導の評価をもとに次の学習の指導法を見直し、つまずきを確実に改善する。

本単元終了時に実施する総括テストは、ペーパーテストで評価し四観点すべての面から評価する。

(5) 単元の指導計画と評価計画

時	方法	ねらい 学習活動	毎時間の重点評価規準	関	考	表	知	評 価 の 方 法	場 面	
		診断テストを	既習の乗法計算の定着を確認する。					ペーパーテスト		
1	問題 解 決 的 な 学 習	何十、何百に1位数をかける乗法計算の仕方を理解し、その計算ができる。	何十、何百×1位数の計算の仕方を考える。					行動観察、つぶやき、発言 ノート	比較検討	
2		2位数×1位数(部分積がみな1けた)	2位数×1位数の計算の仕方を考える。					行動観察、つぶやき、発言 ノート	自力解決	
3		・23×3の計算のしかたを考える。								
4		2位数×1位数(一の位の数との部分積が2けた)	2位数×1位数の計算の筆算ができる。(一の位の数との部分積が2けた)					つぶやき、発言、ノート 家庭学習ノート	比較検討 適用	
5		1辺1.6cmの正方形の周の長を求める。								
6		2位数×1位数(十の位の数との部分積が2けた、及び部分積がみな2けた)	2位数×1位数の計算の筆算ができる。(十の位の数との部分積が2けた、部分積がみな2けた)					つぶやき、発言、ノート 家庭学習ノート	比較検討 適用	
7		・42×3, 58×3の筆算を考える。								
8	問題 解 決 的 な 学 習	2位数×1位数(部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり)	2位数×1位数の筆算ができる。(部分積を加えたときに百の位に繰り上がる)					つぶやき、発言、ノート 家庭学習ノート	比較検討 適用	
9		・29×4や75×4の筆算を考える。								
8		習熟度別学習	学習内容に習熟する。	2位数×1位数の計算が正確にできる。(完全習得学習)					行動観察 練習問題プリント	全学習中
10		3位数×1位数(部分積がみな1けた)	3位数×1位数の筆算の仕方を、2位数×1位数の筆算をもとに考えようとしている。					行動観察、つぶやき、発言	自力解決	
11		場面をとらえて立式し、312×3の計算								
12		3位数×1位数(一、十のくらの数との部分積が2けた)	3位数×1位数の筆算ができる。(一、十の位の数との部分積が2けた)					行動観察、発言、つぶやき、ノート、家庭学習ノート	比較検討 適用	
13		3位数×1位数(部分積がみな2けた、及び部分積に加えたときに繰り上がりあり)	3位数×1位数の筆算ができる。(部分積がみな2けた、部分積に加えたときに繰り上がりあり。)					行動観察、発言、つぶやき、ノート、家庭学習ノート	比較検討 適用	
14	問題 解 決 的 な 学 習	・937×4, 537×3の筆算。								
15		乗法の結合法則と3つの数の乗法が1つの式に表せることを理解する。 ・場面をとらえ、代金の求め方を考える。	乗法2段階の式を1つに式に表すことができる。					行動観察、発言、つぶやき ノート、家庭学習ノート	比較検討	
16		学習内容に習熟する。(習熟度別学習)	3位数×1位数の計算が正確にできる。(完全習得学習)					行動観察、発言、問題プリント		
16		学習内容の理解を確認する	(関) 2位数×1位数、3位数×1位数の計算の仕方を考える。 (考) 計算の仕方を、数の構成や十進位取り記数法をもとに考える。 (表) 2、3位数×1位数の計算を筆算で正確にできる。 (知) 23位数1位数の筆算の仕方を理解する。 乗法の結合法則を理解する。					総括テスト (業者テスト)		

## 6 本時の指導 ( 8 / 16 )

### (1) 小単元名

「3けたの数に1けたの数をかける計算」

### (2) 本時の目標

3位数×1位数のかけ算の筆算計算に習熟すると同時に、かけ算の筆算への理解を深め、算数への興味を広げる。

### (3) 授業仮説

個に応じた指導を展開することによって、3位数かける1位数のひっ算に習熟することができるであろう。

算数的活動や生活の場面を想定した活動を設定することによって、かけ算の筆算への理解を深め、算数への興味を広げるであろう。

### (4) 各コースの学習内容及び算数的活動・場面の工夫

コース名	くり上がり	3つの数のかけ算	チャレンジ
学習内容	かけた数がくり上がり、加えた数もくり上がる筆算の計算をする。	3つの数のかけ算の計算をする。	・3位数×1位数や3つの数のかけ算の計算を正確に早くする。 ・問題を作る。
算数的活動 生活場面の設定	・模擬貨幣を使って10のまとまりを作る。	・スーパーのお菓子売場で買い物をする場を設定。	・デパートのおもちゃ売場で買い物をする場を設定。 ・チラシを使って買い物計画を立てる。

### (5) コースの編成と児童の実態

コース別学習は、すでに3回経験している。チェックテストの結果で自分のつまずきを確認、コースを選択し、喜んで学習に取り組んでいる。学習終了後は、「楽しかった」「またやりたい」「次は、もっと難しい問題をやりたい」という児童の声が聞かれる。

コース名	くり上がり	3つの数のかけ算	チャレンジ
児童の数	17名	47名	60名
各コースの習熟とつまずきの実態	・かけ算九九を使つての計算は十分できる。 ・くり上がる数をまちがえる。 ・くり上がった数を加えることを忘れる。	・3けた×1けたの筆算は十分できる。 ・式をたてることができない。 ・式をたてることはできるが計算のしかたがわからない。	・筆算に習熟し、数の構成や十進位取り記数法をもとに未習の問題に取り組む。 ・3けた×2けたの筆算形式の計算を工夫して解く。 ・文章問題作りに少し抵抗がある。

## < くり上がりコース >

### 学習内容

3 位数 × 1 位数の（くり上りのある）筆算ができる。

### 指導のポイント

・身近にある貨幣（模擬）を操作することで、繰り上がりが 10 進位取り数記法に基づいている事の理解を図る。

準備（児童） チャレンジファイル 名前マグネット カルテカード

（教師）目当てカード 問題プリント 解答用紙 補助黒板 名簿 模擬貨幣

### 展開

学習の流れ	学習活動	指導上の留意点 評価* 個への対応
<pre> graph TD     A[はじめ] --&gt; B[説明]     B --&gt; C[/たしかめ問題/]     C --&gt; D[練習問題]     D --&gt; E{チェック}     E --&gt; F[補説]     F --&gt; G[チャレンジ問題]             </pre>	<p>1 , 学習のめあてを確認する。</p> <p>2 , 「学習の進め方」を確認する。</p> <p>3 , 問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">176 × 2 の計算をひっ算しよう。</p> </div> <p>数字を貨幣に置き換えて考える。                  くり上がると 1 円玉 10 枚が、10 円玉 1 個になることに気づく。                  計算の順序に気をつけながら筆算で解いてみる。</p> <p>4 「練習」や「チャレンジ 1・2」上位問題に取り組む。</p> <p>5 , 自己解答する。</p> <p>6 , 「チャレンジ 1・2」や上位問題に取り組む。</p>	<p>学習のめあてや、学習の流れ、マグネット板の進め方について説明し、学習意欲を持たせる。</p> <p>模擬貨幣を使ってくり上りの意味理解を図る。</p> <p>具体物操作と式の数字の意味を結びつけて説明する。</p> <p>くり上がる数とくり上がる位置が正しいか確認する。</p> <p>位に気をつけ、1 の位から順に計算していくことを確認する。</p> <p>* 解答を間違った児童は、間違いのわけを考え、教師と一緒に学び直しをする。</p> <p>* このコースの問題を理解したら 上位の問題プリントに進めるようにする。</p>

<pre> graph TD     Start(( )) --&gt; Check{チェック}     Check --&gt; Boshu[補説]     Boshu --&gt; Matome[まとめ]     Matome --&gt; Hiranori[振り返り]     Hiranori --&gt; Owari[終わり] </pre>	<p>7,自己解答する。</p> <p>8 , 本時の学習を振り返る。 ・まとめをする。 ・振り返りをする。</p> <p>9 , 次時の確認をする。</p>	<p>繰り上がりのある計算を正しく解くことができる。</p> <p>めあてに戻り今日の学習のまとめをする。 本時の学習の感想をまとめる。</p>
---	---	--

### 3つの数のかけ算コース

めあて

乗法の結合法則を理解するとともに、3つの数の乗法が1つの式に表せることを理解する。

指導の手立て

模擬菓子を提示し、問題場面をとらえやすくし、言葉の式から数式を導かせ、2通りの式の意味を理解できるようにする。また、問題の数値（1個の値段）を児童自ら選ぶ場面をつくり、意欲的に問題に取り組めるようにする。

準備

問題に使う商品、値札カード、めあてカード、問題プリント

展開

学習の流れ	学習活動	指導上の留意点 * 個に応じた指導 評価
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習のめあてを確認する。</li> <li>2. 学習の進め方を確認する。</li> <li>3. 問題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     1こ50円のシュークリームが、1はこに3こ入っています。2はこ買うと、だいい金はいくらになりますか。                 </div>                     考え方の違いを考えながら、2通りの式を立てる。                      1つの式に表し、どちらも同じ式にまとめられることを確認する。                      2通りの式の答えが同じになることを確認し、乗法の結合法則について理解する。                      どちらの式が、計算が簡単か確認する。                 </li> <li>4. 練習問題を自分で解いてみる。                      たしかめ問題と同じく2通りの式を考え1つの式に表す。</li> <li>5. 教師に確認してもらう。                      ・YESの児童は次の問題へ進む。                      ・NOの児童は、教師と間違っただけを考える。</li> <li>6. チャレンジ問題を自分で解いてみる。</li> <li>7. 教師に確認してもらう。                      ・YESの児童は次の問題へ進む。                      ・NOの児童は、教師と間違っただけを考える。</li> <li>8. 本時の学習でわかったことや感想などを発表し合い、まとめる。</li> </ol>	<p>めあてカードを提示し、コースの学習内容を意識させる。</p> <p>身近な品物を問題にすることにより、児童が解決に興味を持つよう工夫する。                      模擬菓子を提示し、問題場面を具体的に把握させる。</p> <p>一つの式にするまでの流れを図式化し、対比させることで、視覚的に理解しやすいようにする。</p> <p>たしかめ問題と同じ形式の問題にし、考えを整理しながら解けるようにする。                      * 絵や図を書き、問題場面を把握させる。                      * 立式でつまづいてる児童には、模擬菓子やヒントカードを提示し、問題場面を具体的に把握させる。</p> <p>* 問題の数値（1個の値段）を児童に選ばれることによって、意欲をもって問題に取り組むようにする。                      乗法の2段階の式を一つの式に表すことができる。                      乗法の結合法則を理解している。                      （チャレンジ問題）                      児童から、今日の学習のまとめを引き出す。</p>

### 3つの数のかけ算コース

学習内容 < 1つの式に表し、工夫して計算する >

指導ための手だて

- ・ 模擬菓子を提示、操作することにより算数的活動を取り入れ、問題場面をとらえやすくし、1あたりの量を1箱分または1個分をもとにする2つ考え方を持たせる。
- ・ 2つの式を言葉の式と対比させる事により、同じ1つの式に表せることに気づかせる。3つの乗法では、前の2数を先に計算しても、後の2数を先に計算しても答えが同じになることを理解させる。
- ・ 3枚のプリントを準備し、学習の習熟を深める。

準備 (児童) ファイル      マグネット (名前)      筆記用具  
 (教師) 模擬菓子      めあてカード      問題用紙      解答用紙      赤ペン

本時の展開

学習の流れ	学 習 活 動	指導上の留意点 評価 * 個への対応
<p>(はじめ)</p> <p>説明</p> <p>たしかめ問題</p> <p>チェック → 補説</p> <p>練習問題</p> <p>チェック → 補説</p> <p>チャレンジ問題</p> <p>チェック → 補説</p> <p>上位問題</p> <p>チェック</p> <p>まとめ</p>	<p>1 めあてを確認する。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・ 1つの式に表そう ・ 工夫して計算しよう</span></p> <p>2 学習の進め方を確認する。</p> <p>3 問題を把握する。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1つ50円のシュークリームが、1はこに3こ入っています 2はこ買うと代金はいくらになりますか。</span></p> <p>4 言葉の式をもとにして、立式する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1箱の代金をもとにする</p> <math display="block">50 \times 3 = 150</math> <math display="block">150 \times 2 = 300</math> <p>答え 300 円</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>菓子の個数をもとにする</p> <math display="block">3 \times 2 = 6</math> <math display="block">50 \times 6 = 300</math> <p>答え 300 円</p> </div> </div> <p>5 めあてを確認し、1つの式に立式・計算する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>1箱の代金 × 箱いくつ分</p> <math display="block">(50 \times 3) \times 2</math> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>菓子の値段 × 菓子の個数</p> <math display="block">50 \times (3 \times 2)</math> </div> </div> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2つの考え方は同じ1つ式になる。</span></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <math display="block">\begin{array}{r} (50 \times 3) \times 2 \\ 150 \times 2 \\ 150 \\ \times 2 \\ \hline 300 \end{array}</math> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <math display="block">50 \times (3 \times 2)</math> <math display="block">50 \times 6 = 300</math> </div> </div> <p style="text-align: center;">どちらを先に計算したほうが簡単?</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">ひっ算をする!</span>      <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">暗算でもできる!</span></p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工夫すると早く計算することができる。</span></p> <p>6 練習問題、チャレンジ問題、上位問題に取り組む。          ・ 練習問題 チェック チャレンジ問題 チェック          次のコース問題へとチャレンジする。          ・ 間違いのあった児童については、教師に間違いを確認してもらおう。</p> <p>7 自己解答する。</p> <p>9 , 本時の学習を振り返る。</p>	<p>児童が問題場面をとらえやすいように模擬菓子を提示する。</p> <p>* 解決の見通しのつかない児童には、<u>1箱の代金</u>又は、<u>菓子の個数</u>をもとにして考えればよい事に気づかせ助言する。          言葉の式と対比させる事により同じ1つの式にまとめられるなることに気づかせる。  <u>1箱の代金と菓子の個数のかけ算は( )</u>をつけさせる。          2つの式は、答えが同じになることを確かめる、</p> <p>2つの式を解き、答えの見つけ方の早い方法に気づかせる。          ( )のある計算方法について助言する。</p> <p>1つの式に表す事、工夫して計算する事ができる。          * 全問正解の児童は次へ、間違いのあった児童は教師と共に学び直しをする。</p> <p>本時の学習でわかった事、友だちの良いところに気づき発表しあう。</p>

### チャレンジコース<計算力アップ>

学習内容：3位数×1位数のひっ算、3つの数のかけ算の計算をする。

指導のポイント：くり上がる数と位をしっかりと把握させる。

：かけ算九九を使うことに目を向けさせる。

準備(児童)ファイル マグネット 鉛筆、赤ペン

(教師)めあてカード 問題用紙 解答用紙 補助黒板 赤ペン チラシ

展開

学習の流れ	学 習 活 動	指導上の留意点 評価*個 への対応
<pre> graph TD     A[はじめ] --&gt; B[説明]     B --&gt; C[/たしかめ問題/]     C --&gt; D{チェック}     D --&gt; E[補説]     D --&gt; F[/発展問題/]     F --&gt; G{チェック}     G --&gt; H[補説]     G --&gt; I[おわり]     </pre>	<p>1 学習のめあてを確認する。</p> <p>2 「学習の進め方」を確認する。</p> <p>3 3位数×1位数のひっ算、3つの数のかけ算をする。</p> <p>4 自分で解答する。 ・YESは次へ、NOは補説</p> <p>5 発展問題を解く。 ・チラシから3けたの数を見つけ、3位数×1位数や3つの数のかけ算の計算をする。</p> <p>6 友だちと解答する。 ・YESは次へNOは補説</p> <p>7 本時の学習をまとめる。</p>	<p>めあてカードを提示する。</p> <p>「学習の流れ」表を用意する。</p> <p>計算が早く正確にできる。 くり上がる数と位をしっかりと把握させる。 かけ算九九を使うことに目を向けさせる。 NOの児童は、誤答のわけを自分で見つけさせる。 *NOの児童は、個人指導を行う。 ひっ算、3つの数のかけ算のかけ算が正確に早くできる *4位数×1位数、3位数×2位数の計算にも取り組ませる。</p> <p>NOの児童は、誤答のわけを自分で見つけさせる。 本時の学習でわかったことやかけ算が生活の中で使えることなどをまとめ発表させる。</p>

### チャレンジコース<計算力アップ>

学習内容：3位数×1位数のひっ算、3つの数のかけ算の計算をする。

指導のポイント：くり上がる数と位をしっかりと把握させる。

：かけ算九九を使うことに目を向けさせる。

準備(児童)ファイル マグネット 鉛筆、赤ペン

(教師)めあてカード 問題用紙 解答用紙 補助黒板 赤ペン チラシ

展開

学習の流れ	学 習 活 動	指導上の留意点 評価*個 への対応
<pre> graph TD     A[はじめ] --&gt; B[説明]     B --&gt; C[/たしかめ問題/]     C --&gt; D{チェック}     D --&gt; E[補説]     D --&gt; F[/発展問題/]     F --&gt; G{チェック}     G --&gt; H[補説]     G --&gt; I[おわり]     </pre>	<p>1 学習のめあてを確認する。</p> <p>2 「学習の進め方」を確認する。</p> <p>3 3位数×1位数のひっ算、3つの数のかけ算をする。</p> <p>4 自分で解答する。 ・YESは次へ、NOは補説</p> <p>5 発展問題を解く。 ・チラシから3けたの数を見つけ、3位数×1位数や3つの数のかけ算の計算をする。</p> <p>6 友だちと解答する。 ・YESは次へNOは補説</p> <p>7 本時の学習をまとめる。</p>	<p>めあてカードを提示する。</p> <p>「学習の流れ」表を用意する。</p> <p>計算が早く正確にできる。 くり上がる数と位をしっかりと把握させる。 かけ算九九を使うことに目を向けさせる。 NOの児童は、誤答のわけを自分で見つけさせる。 *NOの児童は、個人指導を行う。 ひっ算、3つの数のかけ算のかけ算が正確に早くできる *4位数×1位数、3位数×2位数の計算にも取り組ませる。</p> <p>NOの児童は、誤答のわけを自分で見つけさせる。 本時の学習でわかったことやかけ算が生活の中で使えることなどをまとめ発表させる。</p>

## チャレンジコース<計算力アップ>

学習内容：3位数×1位数のひっ算、3つの数のかけ算の計算をする。

指導のポイント：くりあがる数と位をしっかりと把握させる。

：かけ算九九を使うことに目を向けさせる。

準備（児童）ファイル マグネット 鉛筆、赤ペン

（教師）めあてカード 問題用紙 解答用紙 補助黑板 赤ペン チラシ

展開

学習の流れ	学 習 活 動	指導上の留意点 評価*個 への対応
<pre> graph TD     A[はじめ] --&gt; B[説明]     B --&gt; C[/たしかめ問題/]     C --&gt; D{チェック}     D --&gt; E[補説]     E --&gt; F[/発展問題/]     F --&gt; G{チェック}     G --&gt; H[補説]     H --&gt; I[おわり]         </pre>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習のめあてを確認する。</li> <li>2 「学習の進め方」を確認する。</li> <li>3 3位数×1位数のひっ算、3つの数のかけ算をする。</li> <li>4 自分で解答する。 ・YESは次へ、NOは補説</li> <li>5 発展問題を解く。 ・チラシから3けたの数を見つけ、3位数×1位数や3つの数のかけ算の計算をする。</li> <li>6 友だちと解答する。 ・YESは次へNOは補説へ</li> <li>7 本時の学習をまとめる。</li> </ol>	<p>めあてカードを提示する。</p> <p>「学習の流れ」表を用意する。</p> <p>計算が早く正確にできる。 くり上がる数と位をしっかりと把握させる。</p> <p>かけ算九九を使うことに目を向けさせる。 NOの児童は、誤答のわけを自分で見つけさせる。 *NOの児童は、個人指導を行う。</p> <p>ひっ算、3つの数のかけ算のかけ算が正確に早くできる *4位数×1位数、3位数×2位数の計算にも取り組ませる。</p> <p>NOの児童は、誤答のわけを自分で見つけさせる。 本時の学習でわかったことやかけ算が生活の中で使えることなどをまとめ発表させる。</p>